



ド
コ
ム
ニ
テ
ィ
ウ
ク
コ
ジ
ア
ウ
ー

あゆみ(長編)

12:00開演 11:30開場

パンドラの鐘

17:00開演 16:30開場

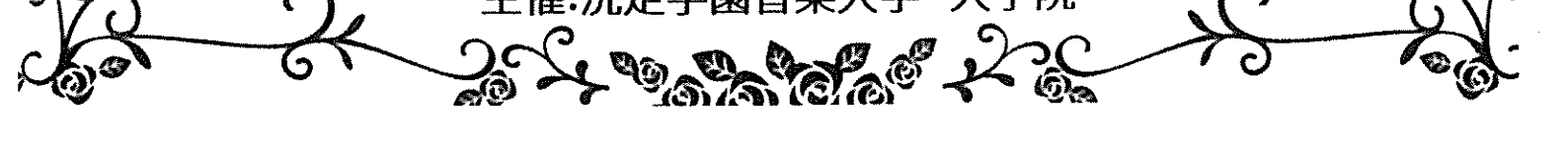
2021年3月31日(水)

↓ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒、手洗い、咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束、プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

会場:MUSIC POOL CINO

主催:洗足学園音楽大学・大学院



パンドラの鐘

作：野田 秀樹 演出：田野 邦彦

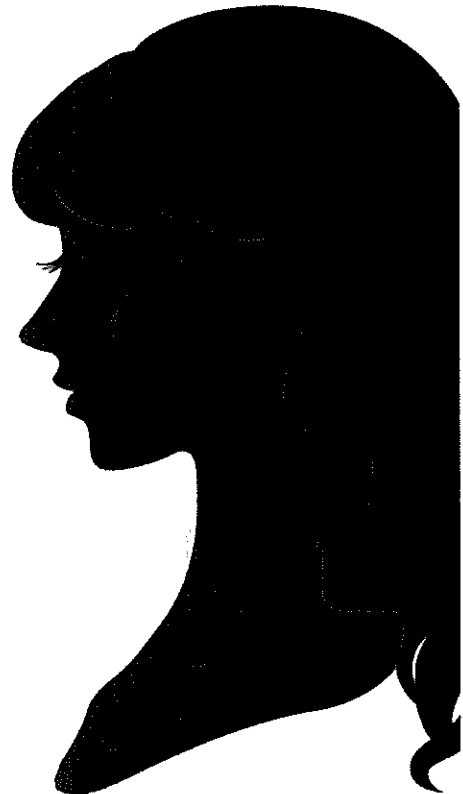
キャスト・スタッフ

ミズヲ 東倫太郎(学1)
ヒメ女 村田志衣(学1)
オズ 伊藤厚志(学1)
カナクギ教授／狂王 清水愛梨(学4)
イマイチ／古代の未来の参謀 戸田鈴(学4)
タマキ 松崎花音(学1)
ピンカートン未亡人／古代の未来の王 佐藤江梨香(学3)
ヒイバア 前原菜々子(学2)
ハンニバル／男1 木村莉緒(学4)
コフィン／他 茂木風歌(学4)
リース／他 下枝宏輔(学4)
ハンマー／他 宇井智香(学2)
スペード／他 栗山明久(学2)
男2／他 木村あいり(学2)
男3／他 佐藤大世(学1)
記者1／他 鈴木未来子(学3)
記者2／他 本島里華(学1)
力持ちリーダー／他 飛田都(学2)

アンサンブル

梅本杏莉(学4) 大城雪姫(学4) 澤田麻江(学2) 五十嵐茜美(学1) 小鹿原睦実(学1)

演出助手：小野夢月(学4) 藤田頼奈(学3) 小澤輝碧(学1)



演出ノート

MUSIC POOL CINOで実施される最初のドラマティックシアター。この素晴らしく、そして極めて個性の強い劇場空間の門出に相応しい、現代日本を代表する戯曲2作品を上演する運びとなりました。

『パンドラの鐘』は、1980年代以降日本の演劇界を牽引し続けている劇作家／演出家である野田秀樹の代表作のひとつです。1999年の初演では、野田秀樹自身と故・蜷川幸雄がまったく同時期に異なるキャスト・劇場・演出での上演を敢行し、その年の演劇界における最大の話題作となりました。軽妙な言葉遊びと飛躍する想像力、「古代」「現代（戦前）」など異なる時代や歴史的出来事の要素を絡めとりながら、やがて思いもかけないダイナミックな渦へと発展させ「大きな物語」を描いていく構成力。野田秀樹の天才的な筆力を感じずにいられない戯曲となっています。

この作品の重要な要素のひとつとして、未来への希望を託した「賭け」が描かれます。ちょうどこの3月、コロナ禍による最初の緊急事態宣言から丸1年、東日本大震災から丸10年の節目を迎えました。さらにさかのぼってみれば、原爆投下と終戦は76年前、二・二六事件はちょうど85年前。社会全体が大きな影に覆われるような出口のみえない混迷のなかであって、どの時代においても人々はいつも今日この日に祈り、そして明日には、“未だ来ぬ未来”には、きっと明るい光が差し込んでいるはずと信じて、日々のあゆみを進める。若々しくフレッシュで才能あふれた学生たちとともに、賭けに勝つ未来のほうを信じてみたい、と思いました。それが今回、『パンドラの鐘』を上演しようと思った最大の理由です。

田野邦彦（ミュージカルコース准教授）

あゆみ



公演監督：篠原真
(ミュージカルコース統括教授)



舞台監督：星 真一郎
照明：瀬戸 あずさ
(音楽環境創造コース講師)



パンドラの鐘